

山口七夕会通信 VOL. 2

発行：山口七夕会事務局
(山口市企画経営課内)
山口市龜山町2-1
TEL083-934-2746
FAX083-934-2642

山口七夕会定時総会開催を開催しました

去る、7月26日に山口七夕会定時総会を開催いたしました。今年も約60名の参加者がありました。

総会では、平成19年度事業報告、決算及び監査報告、平成20年度事業計画、予算の審議を行い、原案どおり承認されました。

また、今年度、山口七夕会設立10周年を迎えることから、記念誌を発行することが決定いたしました。



講演会では、山口情報芸術センター(YCAM)館長足立明男氏が「ア・ビューティフルシティー-YCAM」を題目に、YCAMの活動を始め、専門である浮世絵の話も織り交ぜながら、大変、貴重なお話をしていただきました。

懇親会は、会員それぞれがふるさと山口の話に花をさかされ、また、恒例のクイズ大会も開催し、盛大の内に閉会いたしました。

山口七夕会設立10周年記念誌寄稿文まだまだ募集中!

今回の記念誌は、「ふるさと山口」を作成コンセプトとしまして、会員の皆様にふるさと山口をアピールしていただくために、「私が思う山口の魅力」を題目に設定して、一人800字以内の寄稿文を募集しております。

締め切りは、10月10日(金)としておりましたが、まだまだ、応募が少ないので、10月31日(金)まで締め切りを延長いたします。

会員の皆様、奮って御寄稿ください。

山口七夕会交流会開催予定

山口七夕会交流会を下記のとおり開催する予定です。

今回は、テレビ等で幅広くご活躍中の毎日新聞顧問、また政治評論家でいらっしゃる岩見隆夫氏に御講演いただく予定です。

詳しくは、別紙の交流会開催案内、又はプロフィールをご参照ください。

皆様、奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

記

- 日 時 平成20年12月2日(火) 18:15～
- 場 所 霞ヶ関ビル33階 東海大学校友会館



「世界スカウトジャンボリー」山口市で開催決定!



2015年(平成27年)に開催される「第23回世界スカウトジャンボリー」が、山口市阿知須「きらら浜」で開催されることが、去る7月21日に韓国済州島で開催された「世界スカウト会議」で決定いたしました。

この世界スカウトジャンボリーは、4年ごとに世界各国で開催されているボーイスカウト運動の世界最大の行事で、世界各国・地域から約3万人の青少年が集い、キャンプや

野外体験活動、交流活動等を通じて、青少年教育の振興を図るものです。

山口市にとって、最も大規模な国際イベントとなる本大会の成功に向けて、会員皆さんの御協力をお願いいたします。

やまぐち知っちゃろ! ～漂白の俳人 種田山頭火～

山頭火は、明治15年12月3日に防府市の大地主の長男に生まれ、十歳にして母親の自殺という不幸に見舞われます。

その後、山口中学を経て早稲田大学で学び、大学時代にはヨーロッパの自然主義の洗礼を受け、新しい文学に志をたてますが、神経衰弱や実家の破産、弟の自殺、離婚、関東大震災の遭遇などで、遂には、熊本市報恩寺で出家得度します。

得度し「耕畝」と改名した山頭火は、行乞流転の旅の中で、生と死、闇からの自由、酒と純化、孤高と望郷といっ

た振り幅の大きい、とりわけ人間の弱さを背負った独自の句境を切り開きました。

昭和7年には、山口市小郡の矢足に「其中庵」を開き、それから7年間、俳人山頭火としてはもっとも長い定住の時間をここで過ごすこととなります。この生活で、山頭火は、第2句集「草木塔」、第3句集「三行水行」、第4句集「雑草風景」、第5句集「柿の葉」などを出版しました。

昭和13年、「其中庵」の老朽化が進み、住むに耐えなくなり、ここを去り、山口市湯田前町の竜泉寺上隣に移り、ここを「風来居」と名づけました。

ここに来てからは、法衣を着て軒下に立つことはなくなりましたが、自分の息子のような若い詩人たちと交わり、よく語り、酒を酌み交わしました。また、山頭火は、山口は、山が美しいと日記にも書き残しています。

この湯田を昭和14年初秋に去り、昭和15年10月11日、愛媛県松山市において、脳溢血で倒れ、58歳の若さで亡くなりました。

現在、山口市小郡矢足には、山頭火が人生でもっとも長く住んだ「其中庵」が復元され、一般の観光客も自由に見学することができます。

また、湯田温泉の高田公園に句碑「ほろほろ酔うて木の葉ふる」、同じく錦川通りに千人湯で詠んだユーモラスな湯田温泉句碑も建っています。

会員の皆様も、山口へお越しの際には、ぜひ訪れていただき、山頭火の足跡を辿ってみてください。

(写真提供:小郡文化資料館)



復元された其中庵